

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|--|--------|-----------------------|
| 施設名称 | かじがや障害者デイ・サービスセンター | 評価対象年度 | 平成26年度 |
| 事業者名 | ・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1 | 評価者 | 障害計画課長 |
| 指定期間 | 平成23年4月1日～平成28年3月31日 | 所管課 | 健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課 |

2. 事業実績

| | | | |
|-----------------|--|----------------------|---------|
| 利用実績 | 生活介護（定員25名）契約者数 25名（平成27年3月31日現在）、延利用日数 5,308日 | | |
| 収支実績 | 収入 | 支出 | 収支差額 |
| | 福祉事業活動 122,647,054円 | 福祉事業活動 122,647,054円 | 0円 |
| | 給付費 83,771,479円 | 人件費 79,070,924円 | |
| | 川崎市独自加算 35,125,595円 | 事務費 18,049,377円 | |
| | 指定管理委託料 84,730円 | 事業費 9,584,127円 | ※指定管理料 |
| | 経理区分間繰入金 0円 | 経理区分間繰入金 15,942,626円 | 84,730円 |
| その他 3,665,250円 | 施設整備等 0円 | | |
| 合計 122,647,054円 | 合計 122,647,054円 | | |
| サービス向上の取組 | <p>・ハンモックやスヌーズレン等の新しいプログラムを、利用者の安全と心地よさを考えた独自の調整を行った上で提供し、利用者・家族から好評を得ている。見学も多く、先駆的な取り組みを行う施設として他施設等から参考にされることも少なくない。</p> <p>・医療的ケアを要する利用者が安全で快適に過ごせる体制を整えており、また、本施設の特徴である祝日運営によって、信頼され選ばれる施設となっている。</p> | | |

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|--------------------------------|-----------------------------------|----|------|-----|
| 総合的な運営状況 | 利用者への支援 | 利用者に対する支援を着実に実施しているか | 10 | 4 | 8 |
| | | 利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか | | | |
| | 事業成果 | 基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか | 10 | 4 | 8 |
| | | 指定管理施設としての事業目的を達成することができたか | | | |
| <p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師・PT・OT等の専門職と協力して写真やイラストを取り入れた支援マニュアルを一人一人個別に作成し、どの支援員であっても同様に毎回確実に変わらない支援が提供できるよう整備しており、利用者の快適さと安心感につながっている。 ・利用者・介護者の、加齢に伴う機能低下と介護負担が深刻化し、長期療養や短期入所により来所できない利用者が増えている中、一人一人に対して健康と機能の観察を丁寧に行い、専門的視点で迅速な対応を継続した結果、不安の解消とともにサービスに対する高い評価を得られ、80%以上の利用率を維持している。 ・施設内だけでなく、健康で安全な在宅生活を継続し、また介護負担を軽減するという視点に立ち、家庭訪問や面談を適時行い、家族に加え、必要に応じてヘルパーも同席して、食事指導・解除方法・福祉用具の使用提案等を行っている。今年度は職員と家族が合同で歯科医師を招いて口腔ケア研修を実施し、その後、医師から口腔内の状態が良いと評価されている。 | | | | | |
| 収支状況 | 支出状況 | 計画に基づく適正な支出が行われているか | 5 | 4 | 4 |
| | | 支出に見合う効果等が図られているか | | | |
| | 収入状況 | 計画通りの収入が得られているか | 5 | 4 | 4 |
| | | 条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか | | | |
| 適切な会計手続 | 会計基準に基づく会計処理がなされているか | 5 | 3 | 3 | |
| | 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか | | | | |
| <p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入については、重複障害加算や医療支援加算等川崎市独自加算をはじめ安定した給付費収入がある。支出については、日常的に節約を心掛け無駄のない経費支出をしている。 ・会計基準に沿った会計処理を行っている。 | | | | | |
| サービス体制 | 適切なサービスの提供 | 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか | 10 | 4 | 8 |
| | | 利用者への支援を適時かつ十分に行っているか | | | |
| | サービス向上への取組み | 現状分析、課題把握等を常に行っているか | 5 | 4 | 4 |
| | | サービス向上に向けた取組みがなされているか | | | |
| 利用者の意見・要望への対応 | 意見・要望の収集方法を確立しているか | 5 | 4 | 4 | |
| | 利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか | | | | |
| <p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の重度化が進む中、利用者にとって心地よく、ゆとりのある1日の流れを提供するため、個別プログラムを重視し、また静養の時間を増やした。畳スペースを拡張し、移乗・移動の安全性を高め、利用者同士もゆったり過ごせるようになった。 ・食形態も一人一人の好みと安全性を考慮して日々新たなものを検討し、寒天等を用いたゼリー食は5パターン余りに及ぶ。 ・土曜日の開所や時間延長サービスの要望が挙がっていることに対して、在宅サービスの導入を提案し、利用者・家族に他サービスと多様な過ごし方を組み合わせて暮らしていくことを促し、また、支援施設側の負担の分散・利用者の生活環境の固定化を防ぐ取組を行っている。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|
| 組織管理体制 | 適正な人員配置 | 必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか | 5 | 4 | 4 |
| | 連絡・連携体制 | 所管課との連絡・連携が十分に図られているか | | | |
| | 担当者のスキルアップ | 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか | 5 | 4 | 4 |
| | 安全・安心への取組 | 事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) | 5 | 5 | 5 |
| | | 緊急時の連絡体制を構築しているか | | | |
| | コンプライアンス | 法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか | 5 | 4 | 4 |
| 職員の労働条件・労働環境 | スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか | 5 | 3 | 3 | |
| (評価の理由) ・現場全体のスキルアップを図るため、全職員が年に1回以上の外部研修を受講できるように調整したほか、専門研修については伝達研修により職員間で内容の共有を図った。 ・事故対応については、事故検証会議で日常的に支援方法を話し合うことで職員の意識を高めた結果、利用者の身体等に影響を及ぼす事故は0件であった。災害に備えて避難訓練を行っているほか、家族との緊急連絡訓練も実施している。 ・施設独自の「虐待防止マニュアル」を作成しているが、それにとどまらず、マニュアルを利用した内部研修を行い、職員それぞれが実際の支援の現場を実感しながら学べるよう努めている。 | | | | | |
| 適正な業務実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか | 5 | 3 | 3 |
| | 管理記録の整備・保管 | 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか | 5 | 3 | 3 |
| | 清掃業務 | 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか | 5 | 3 | 3 |
| | 警備業務 | 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか | | | |
| | 備品管理 | 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか | 5 | 4 | 4 |
| (評価の理由) ・利用者の身の安全に悪影響を及ぼす問題について、冷蔵庫の故障や浴室の壁の亀裂等を中心に対応した。 ・利用者が使う消耗品について、新たな保管場所にて見やすく整理したことにより、管理・補充のしやすさを向上させた。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 76 | 評価ランク | B |
|-------|----|-------|---|

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・在宅生活を含めた、利用者の生活全般を意識した支援を行うことにより、利用者アンケートでは「これからも利用したい」という高い評価を得ており、利用者・家族それぞれから生活のよりどころとして信頼されていることが見てとれる。

・「施設を地域に知ってもらう」「関わってもらう」ことについては、障害者施設への近寄りやすさを感じさせないことを重視し、花壇の整備等に取り組み、ボランティアの増加等の形で効果を上げている。ボランティアについても「できることをしてもらい無理をさせない」「活動内容を明確にする」という方針により、「花壇の水やり」「利用者の入浴後、髪を乾かす」といったちょっとしたことから地域とのつながりを作り上げている点が評価できる。

・利用者への個別支援・家族等への支援・生活全般の支援と、多面的・重層的な取組が行われている。引き続き柔軟な発想と姿勢をもって利用者の希望とニーズに基づいた取組を継続すること。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

| |
|--|
| |
|--|